

木之瀬 隆：日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 教授
学位：修士（工学）（就任：平成 20 年 4 月）

○教育担当科目

作業療法学概論、生活支援環境学、作業療法学研究法、義肢・装具学、生活支援機器学、生活支援機器学演習、作業療法技術演習、作業療法学見学実習、作業療法学見学実習セミナー、作業療法評価学臨床実習、作業療法評価学実習セミナー、作業療法学総合臨床実習Ⅰ、作業療法学総合臨床実習Ⅰセミナー、作業療法学総合臨床実習Ⅱ、作業療法学総合臨床実習Ⅱセミナー、作業療法技術演習、卒業研究

○業績目録

I. 著書

1. 介護福祉士のための福祉用具活用論（共著）：中央法規，木之瀬隆，橋本美芽，小山美代，廣瀬秀行他；3章4節施設場面での福祉用具活用法；122-129，2000。（監修 澤村誠志）
2. ポータブルトイレの選び方・使い方：日本リハビリテーション工学協会，園尾義之，大神 泉，木之瀬隆，小西京子，浜田きよ子，長尾哲男他；第2章ポータブルトイレの導入にあたって。7-12，2000.
3. バリアフリーの生活環境論 第3版（共著）：医歯薬出版，秋山哲男，池田 誠，大津慶子，菊池恵美子，木之瀬隆，野村みどり；136-147，2004.
4. 車いす・シーティング-その理解と実践- 初版：はる書房，木之瀬隆；279-290，2005。（監修 伊藤利之、田中 理）
5. 高齢者のシーティング初版（共著）：三輪書店，廣瀬秀行，木之瀬隆；1-68，130-142，2006.
6. 高齢者介護施設の褥瘡ケアガイドライン：中央法規出版，新田淳子，木之瀬隆；70-102，2007.
7. 在宅ケア辞典：中央法規出版，白澤正和，福島道子，木之瀬隆；274-275，2007.
8. 介護福祉用語辞典-四訂-（共著）：中央法規出版，阿部幸子，阿部 實，岩橋成子，上村協子，大塚俊男，木之瀬隆他；78-80，2007.

△日本医療科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科 就任後の著書

1. これであなたも車いす介助のプロに！シーティングの基本を理解して 自立につながる介助をつくる：中央出版，木之瀬隆，2008.
2. 作業療法のとらえかた PART 2（車いすの選定と使い方）：文光堂 木之瀬隆；車いすの選定と使い方；344-356，2008。（監修 古川 宏）
3. 考える作業療法-活動能力障害に対して-（共著）：文光堂，木之瀬隆；移動の工夫と自立支援-車いすシーティングによる移動支援-；287-296，2008。（監修 澤田雄二）
4. 作業療法士グリーン・ノート専門編-（共著）：メジカルビュー社，木之瀬隆；福祉用具の評価，生活環境整備・福祉用具；40-43，208-229，2008。（編集 長崎重信）
5. 作業療法全書-改訂第3版・第10巻-（編著）：協同医書出版社，木之瀬隆；福祉用具の使い方・住環境整備，2009.

II. 学術論文

①論文

1. 栗原トヨ子, 寺山久美子, 木之瀬隆, 大津慶子, 新田 収: 車椅子体験学習における学生の反応. 東京保健科学学会誌, vol. 3, No. 3 ; 199-203, 2000.
2. 廣瀬秀行, 岩崎 洋, 伊集玲子, 吉田由美子, 高橋功次, 三田友記, 井上剛伸, 新妻淳子, 中山剛, 塚田敦史, 石濱裕規, 関 寛之, 木之瀬隆: 車椅子福祉機器適合サービスと機器. リハビリテーション医学, Vol. 38, No. 6, 2001.
3. 木之瀬隆, 廣瀬秀行: 高齢者のモジュラー車いす. 理学療法学, 第 28 巻, 第 3 号; 173-176, 2001.
4. 栗原トヨ子, 木之瀬隆, 大津慶子, 奥山則子, 酒井蓉子: 車いす使用高齢者の座位能力と褥瘡発生の関連. 東京保健科学学会誌, Vol. 5, No. 4 ; 258-262, 2002.
5. 木之瀬隆: 大学の作業療法教育とアシスティブ・テクノロジー. 日本リハビリテーション工学協会誌, 19(1) ; 19-22, 2004.
6. 栗原トヨ子, 木之瀬隆, 井上 薫, 大津慶子, 新田 収, 寺山久美子, 長田久雄: 保健医療系学生のための高齢者疑似体験プログラムの意義-体験による高齢者に対する意識の変化の考察-. 日本保健科学学会誌, Vol. 7, No. 3 ; 194-199, 2004.
7. 木之瀬隆: 高齢者の車いすシーティングと座位能力分類による対応. 日本義肢装具学会誌, 第 22 巻, 第 3 号 ; 130-133, 2006.
8. 菊池恵美子, 木之瀬隆, 金子誠喜, 新田 収: 車いす移送車両のヒヤリ・ハットの現状と課題-利用者と運転・添乗者を通じて-. 作業療法, 第 26 巻, 第 4 号, 2007.

②その他の論文

1. 廣瀬秀行, 荻野昭二, 木之瀬隆, 河合俊宏, 八藤後猛, 岡田伸一, 坂尻正次: 車いす使用者の事務作業時の問題点とその対応について. 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究紀要, 第 20 号 ; 1-7, 2000.
2. 木之瀬隆: シーティングシステムと作業療法. 作業療法, 第 19 巻, 特別号 ; 70, 2000.
3. 栗原トヨ子, 寺山久美子, 木之瀬隆, 谷村厚子: 車椅子体験学習における恐怖心の要因. 文京福祉専門学校研究紀要, 第 7 号 ; 30-34, 2001.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の論文

1. 木之瀬隆: シーティング技術とリハビリテーションによる褥瘡予防. 日本褥瘡学会誌, Vol. 10, No. 2 ; 98-102, 2008.

②その他の論文

1. 木之瀬隆, 廣瀬秀行: 高齢者の車いす座位と抑制帯について. 第 15 回リハ工カンファレンス講演論文集 ; 203-206, 2000.
2. 木之瀬隆: 高齢者のレンタル車いすのあり方. 第 15 回リハ工カンファレンス講演論文集 ; 395-398, 2000.
3. 藤田大介, 木之瀬隆, 瀬戸山恵美: 重度高齢障害者に対するシーティングアプローチ. 第 15 回リハ工カンファレンス講演論文集 ; 195-198, 2000.
4. 塚田敦史, 廣瀬秀行, 木之瀬隆, 木村純子: 高齢者介護施設での使用を想定した福祉機器開発手法に関する研究. 第 16 回リハ工学カンファレンス講演論文集 ; 425-428, 2001.
5. 廣瀬秀行, 木之瀬隆: 高齢者の身体拘束の原因. 第 16 回リハ工学カンファレンス講演論文集 ; 257-260, 2001.
6. 橋詰 努, 久保 茂, 木之瀬隆: 座圧による車いす用クッションの評価. 第 16 回リハ

工学カンファレンス講演論文集；541-544，2001.

7. 栗原トヨ子, 寺山久美子, 木之瀬隆, 新田 収, 大津慶子：保健医療系大学における高齢者疑似体験学習の実践とその効果. 第4回福祉のまちづくり全国大会概要集；205-208, 2001.
8. 木之瀬隆；座位能力分類に合わせた座らせ方. 第9回日本介護福祉学会大会抄録集；360-366, 2001.
9. 塚田敦史, 廣瀬秀行, 木之瀬隆, 木村純子, 数藤康雄：高齢者介護施設使用を想定した福祉機器開発手法に関する研究（車いすによる検討）. 第14回バイオエンジニアリング講演会講演論文集；163-164, 2002.
10. 吉田 傑, 大津慶子, 木之瀬隆, 廣瀬秀行：モジュール車椅子の時代をむかえて-現状アンケート調査から-. 第17回リハ工学カンファレンス講演論文集；29-32, 2002.
11. 清宮清美, 浅海奈津美, 木之瀬隆, 佐藤真理子, 廣瀬秀行：重度高齢障害者に対するモールド型車いす作成の試み. 第17回リハ工学カンファレンス講演論文集；73-76, 2002.
12. 塚田敦史, 廣瀬秀行, 数藤康雄, 木之瀬隆, 木村純子：高齢者介護施設での使用を想定した機器開発手法に関する研究-車いすについての検証-. 第17回リハ工学カンファレンス講演論文集；177-180, 2002.
13. 木之瀬隆：高齢者のシーティング-車いすシーティングと座位能力分類による対応-. 作業療法ジャーナル, 38(9)；858-865, 2004.
14. 堀井圭子, 新垣盛行, 村上貴子, 立花あゆみ, 片桐麻利子, 木之瀬隆：高齢者施設におけるシーティング. 作業療法ジャーナル, 38(12)；1147-1153, 2004.
15. 関谷宏美, 鈴木圭介, 木之瀬隆：進行性神経難病におけるシーティング. 作業療法ジャーナル, 38(13)；1253-1260, 2004.
16. 木之瀬隆：シーティング 高齢者の車いすシーティング-車いすシーティングと座位能力分類による対応-. 日本義肢装具学会誌, 22巻, 3号；130-133, 2006.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後のその他の論文

1. 木之瀬隆, 引地雄一：車いす・シーティングセミナー. 第16回日本義肢装具士協会学術大会（長崎）講演集-フィールドの拡大-, Vol. 17；62-63, 2009.
2. 木之瀬隆：高齢者の車いす座位能力分類と車いすの選び方. トータルケアマネジメント, vol. 5, No. 3；57-64, 2000.
3. 木之瀬隆：身体拘束をしない椅子・車いすの使い方. 月刊総合ケア, Vol. 12, No. 5；23-30, 2001.
4. 大津慶子, 木之瀬隆：介護保険のレンタル車いす. シーティングシステム研究会 50 回記念誌；66-70, 2001.
5. 廣瀬秀行, 木之瀬隆：高齢者に対するシーティングシステムアプローチ. 看護技術, Vol. 48, No. 9, 10；93-97, 2001.
6. 木之瀬隆：高齢者のシーティング その①シーティングの役割と普通車いすの問題点. 自立支援とリハビリテーション増刊号, Vol. 1, No. 1；93-98, 2002.
7. 木之瀬隆：高齢者のシーティング その②モジュラー車いすを基本とした車いすの選定・適合方法. 自立支援とリハビリテーション, Vol. 1, No. 2；103-110, 2002.
8. 木之瀬隆：高齢者のシーティング その③車いすシーティングによる身体拘束ゼロと褥瘡予防. 自立支援とリハビリテーション, Vol. 1, No. 3；86-93, 2002.
9. 木之瀬隆：車いすシーティングによる褥瘡対策. 臨床看護, Vol. 31, No. 10；1528-1532,

2005.

10. 木之瀬隆：快適な座位姿勢を保つシーティング技術 第1回 高齢者の座位保持能力と身体拘束ゼロへの対応. 高齢者ケア, Vol. 9, No. 1 ; 69-76, 2005.
11. 木之瀬隆：自立支援のためのシーティング技術と福祉用具活用-高齢者のシーティングと福祉用具の車いす. 自立支援とリハビリテーション, Vol. 3, No. 1 ; 4-14, 2005.
12. 長谷川美由貴, 杣木咲子, 木之瀬隆：高齢者施設におけるいすを利用したシーティング. 自立支援とリハビリテーション, Vol. 3, No. 1 ; 22-27, 2005.
13. 木之瀬隆：快適な座位姿勢を保つシーティング技術 第2回 褥瘡予防のためのシーティング. 高齢者ケア, Vol. 9, No. 2 ; 69-75, 2005.
14. 木之瀬隆：車いすシーティングによる褥瘡対策. 臨床看護, Vol. 31, No. 10 ; 1528-1532, 2005.
15. 木之瀬隆：地域生活領域における福祉工学の現状と課題 -アシスティブ・テクノロジーの展開と福祉用具の選定・適合の課題-. 理学療法ジャーナル, 第40巻, 第9号 ; 775-780, 2006.
16. 木之瀬隆：認知症高齢者の尊厳とシーティング. 月刊総合ケア, 第16巻, 第12号 ; 34-37, 2006. 12.
17. 木之瀬隆：老健-実践講座 高齢者のシーティング 第1回シーティング技術と自立支援の考え方-. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 18, No. 8 ; 32-40, 2007.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後のその他の論文

1. 木之瀬隆：老健 実践講座 高齢者のシーティング 第2回褥瘡予防のためのシーティング. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 18, No. 10 ; 34-43, 2008.
2. 木之瀬隆：老健 実践講座 高齢者のシーティング 第3回高齢者のシーティング・アセスメント方法. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 18, No. 11 ; 34-40, 2008.
3. 木之瀬隆：老健 実践講座 高齢者のシーティング 第4回座位能力分類によるシーティング・アセスメントの事例. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 18, No. 12 ; 38-43, 2008.
4. 木之瀬隆：老健 実践講座 高齢者のシーティング 第5回褥瘡対応のシーティングの事例. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 19, No. 2 ; 35-44, 2008.
5. 木之瀬隆：老健 実践講座 高齢者のシーティング 第6回椅子の活用法. 全国老人保健施設研究会機関誌, Vol. 19, No. 4 ; 38-48, 2008.
6. 木之瀬隆 (編集 佐藤秀輔)：車いすのシーティング-座位姿勢を見直そう！-. ナース専科4月号, 第28巻, 第4号 ; 60-65, 2008.
7. 木之瀬隆 (編集 日高雄一郎)：移乗・移動・シーティングの注意点. おはよう 21 12月号, 第19巻, 第14号 ; 17-20, 2008.
8. 木之瀬隆：シーティング技術による褥瘡予防. 臨床看護, 第35巻, 第14号 ; 2148-2159, 2009.
9. 木之瀬隆：介護労働者設備等整備モデル奨励金. 介護福祉春季号, No. 73 ; 105-115, 2009.
10. 木之瀬隆：介護保険レンタル車いすの課題. 福祉介護機器, Vol. 2, No. 8 ; 1-3, 25-30, 2009.
11. 木之瀬隆：シーティング技術による褥瘡予防-ガイドラインによるシーティング技術の扱い-. 臨床看護 12月号 ; 2148-2159, 2009.

IV. 学会および研究発表

【国際学会】

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど
- ②一般演題などの発表

1. Takashi Kinose: Sitting Posture and Pressuer Sores in the Wheelchair-bound Elderly. Journal of Tissue Viability, Vol. 11, No. 1 ; 38-39, 2001. 2.
2. Takashi kinose, Hideyuki Hirose: The Introduction of The Japanese Society of Seating Consultants (JSSC). ISS 23rd International Seating Symposium; 223-224, March 8-10, 2007.

【国内学会】

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど
- △日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の国内学会

②一般演題などの発表

1. 木之瀬隆: 介護保険の福祉用具レンタルの課題. 第2回福祉技術シンポジウム講演要旨集; 7-8, 2000. 9.
2. 長嶺枝理佳, 藤田早苗, 倉林清子, 木之瀬隆: 筋電義手を使用するに至った70歳の前腕切断者. 第35回日本作業療法学会誌, Vol. 20, No. 1 ; 314, 2001. 6.
3. 久保田好正, 保坂敏男, 木之瀬隆: いすを提供するための管理体制づくり-車いす系の活動紹介-. 第36回日本作業療法学会誌, Vol. 21 ; 644, 2002. 4.
4. 木之瀬隆: 高齢者のシーティングと身体拘束の対応. 第36回日本作業療法学会誌, Vol. 21 ; 104, 2002. 6.
5. 栗原トヨ子, 木之瀬隆, 大津慶子, 奥山則子, 酒井蓉子: 車いす使用者の座位能力と褥瘡発生の関連. 第8回東京保健科学学会学術集会抄録集; 27, 2002. 9.
6. 木之瀬隆, 大津慶子, 栗原トヨ子, 奥山則子: 椅子座位におけるテイルト・リクライニング角度変化が姿勢に及ぼす影響. 第8回東京保健科学学会学術集会抄録集; 28, 2002. 9.
7. 木之瀬隆, 大津慶子, 栗原トヨ子, 奥山則子: 椅子座位におけるテイルト・リクライニング角度変化が圧分布に及ぼす影響. 第10回東京保健科学学会学術集会抄録集; 13, 2003. 9.
8. 栗原トヨ子, 木之瀬隆, 井上 薫, 大津慶子, 新田 収, 寺山久美子, 長田久雄: 高齢者疑似体験プログラムの意義と効果. 第10回東京保健科学学会学術集会抄録集; 13, 2003. 9.
9. 菊池恵美子, 木之瀬隆, 金子誠喜, 新田 収, 青村 茂: 車いす車両のヒヤリ・ハットに関する研究-2 (移送業者や施設関係者の分析). 日本機械技術学会 2005 年度次大会講演論文集, 5 ; 213, 2005.
10. 阿部雅人, 青村 茂, 館野寿丈, 菊池恵美子, 木之瀬隆: 車載車椅子の安全評価に関する研究. 日本機械技術学会 2005 年度次大会講演論文集, 5 ; 215, 2005.
11. 木之瀬隆, 菊池恵美子, 金子誠喜, 新田 収, 鈴木健太郎, 青村 茂: 車いす移送車両のヒヤリ・ハットに関する調査研究 (第1次分析). 日本機会学会関東支部第11期総会講演会論文集; 165-166, 2005.
12. 木之瀬隆, 菊池恵美子, 金子誠喜, 新田 収, 鈴木健太郎: 車いす移送車両のヒヤリ・ハットに関する研究 (アンケート調査による利用者の障害特性とヒヤリ・ハットの問題

- 抽出)。第13回日本保健科学学会学術集会抄録集；12，2005。
13. 鈴木健太郎，菊池恵美子，木之瀬隆，金子誠喜，新田 収：車いす移送車両のヒヤリ・ハットに関する基礎的研究-その2-安全性・快適性に関する当事者の回答から-。第14回日本保健科学学会学術集会抄録集；13，2005。
 14. 菊池恵美子，木之瀬隆，金子誠喜，新田 収，鈴木健太郎：車いす移送車両のヒヤリ・ハットに関する基礎的研究-その3-移送業者や移送ボランティアに対する調査結果の分析-。第14回日本保健科学学会学術集会抄録集；13，2005。
 15. 土田千穂，田中義博，岩谷清一，多良淳二，木之瀬隆：座圧パターンから見た褥瘡予防に関する検討。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；274-275，2005。
 16. 古賀 洋，木之瀬隆，河内昌子，塚田敦史，佐野公治：環境配慮型座位補助具の開発とその実際 最終試作品の評価。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；292-293，2005。
 17. 河内昌子，木之瀬隆，古賀 洋，塚田敦史，佐野公治：環境配慮型座位補助具の開発とその実際Ⅱ 腕まくらによる座位姿勢と座圧分布。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；294-295，2005。
 18. 木之瀬隆，塚田敦史，古賀 洋，河内昌子，佐野公治：環境配慮型座位補助具の開発とその実際Ⅲ。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；296-297，2005。
 19. 野村みどり，木之瀬隆，井手愛子：特別支援教育を推進するバリアフリー生活 情報環境デザインのあり方に関する研究1 ノルウェー、デンマークの事例調査。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；344-345，2005。
 20. 木之瀬隆，野村みどり，野澤浩子：特別支援教育を推進するバリアフリー生活 情報環境デザインのあり方に関する研究2 養護学校のリフター導入検討。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；346-347，2005。
 21. 野澤浩子，木之瀬隆，野村みどり：特別支援教育を推進するバリアフリー生活 情報環境デザインのあり方に関する研究3 養護学校におけるリフター利用についての実践報告。第20回リハビリ工学カンファレンス講演論文集；348-349，2005。
 22. 木之瀬隆，岩谷清一，村木久仁子：リハビリテーションにおける車いすクッション選定の圧力測定と座圧パターンの関係。日本褥瘡学会誌，Vol. 7，No. 3；511，2005。
 23. 村木久仁子，岩谷清一，林 宏拓，木之瀬隆：ポジショニングにおけるリハビリテーションの役割-肩甲骨部の褥瘡に対する体交枕の選定と体位について-。日本褥瘡学会誌，Vol. 7，No. 3；553，2005。
 24. 岩谷清一，林 宏拓，木之瀬隆：在宅復帰した重度四肢麻痺患者への福祉用具を用いた褥瘡予防。日本褥瘡学会誌，Vol. 7，No. 3；644，2005。
 25. 井上 薫，谷村厚子，伊藤祐子，鈴木圭介，木之瀬隆，栗原トヨ子，菊池恵美子，繁田雅弘：健康福祉 GPPT・作業療法教育における客観的臨床能力試験（OSCE）の導入-評価上の問題点と改善策-。医学教育，36巻補冊；51，2005。
 26. 西村幸恵，山口きよ子，岩谷清一，木之瀬隆，今村安秀：シーティングを行い施設入所につなげた一症例より-生活を継続するための作業療法士の取り組み-。第40回日本作業療法学会；7，2006。
 27. 湯浅健太郎，岩尾武宣，木之瀬隆：既製品座位補助具を用いた普通型車いす上でのシーティング効果の検討。第40回日本作業療法士学会；7，2006。
 28. 木之瀬隆，縄田 厚，福島文晴，岩寄徹治：高通気車いすクッション“リフレア”を用

いた着座環境の改善についての考察-座圧パターンによる考察-. 日本褥瘡学会機関誌, 8 (3) ; 494, 2006.

29. 岩谷清一, 林 宏拓, 木之瀬隆: 離床の促進による褥瘡予防の試み-車いすへの移乗及び座位環境の設定に着目した褥瘡予防-. 日本褥瘡学会機関誌, 8 (3) ; 505, 2006.
30. 木之瀬隆, 古賀 洋, 佐野公治: 環境配慮型座位補助具のモニタリング研究1. 第21回リハ工学カンファレンス講演論文集; 111-112, 2006.
31. 古賀 洋, 木之瀬隆, 佐野公治: 環境配慮型座位補助具のモニタリング研究2. 第21回リハ工学カンファレンス講演論文集; 113-114, 2006.
32. 木之瀬隆, 井出愛子, 山田祥子, 杉山弘子: 特別支援教育を推進するバリアフリー生活情報環境デザインのあり方に関する研究4-ノルウェーと日本の比較-. 第21回リハ工学カンファレンス講演論文集; 161-162, 2006.
33. 井手愛子, 木之瀬隆, 大崎淳史, 山田祥子, 杉山弘子: 特別支援教育を推進するバリアフリー生活情報環境デザインのあり方に関する研究5-住宅へのリフター導入事例-. 第21回リハ工学カンファレンス講演論文集; 163-164, 2006.
34. 山田祥子, 木之瀬隆, 大崎淳史, 井手愛子, 杉山弘子: 特別支援教育を推進するバリアフリー生活情報環境デザインのあり方に関する研究6-養護学校寄宿舎における浴室へのリフター導入事例-. 第21回リハ工学カンファレンス講演論文集; 165-166, 2006.
35. 古賀 洋, 木之瀬隆, 佐野公治: 環境配慮型座位補助具の使用マニュアルの考察. 第22回リハ工学カンファレンス講演論文集; 33, 2007.
36. 大津慶子, 斉藤 省, 木之瀬隆: 車いす座位の自力姿勢変換を可能にするエアパッドボードを利用した自在ボード. 第22回リハ工学カンファレンス講演論文集; 155, 2007.
37. 木之瀬隆: シーティング技術の基本と褥瘡予防. 日本褥瘡学会機関誌, 9 (3) ; 332, 2007.
38. 木之瀬隆, 縄田 厚, 福島丈晴, 岩寄徹治: 高通気車いすのクッション“リフレア”を用いた着座環境改善の考察-アンケートによる改善効果の検討-. 日本褥瘡学会機関誌, 9 (3) ; 415, 2007.
39. 木之瀬隆: 寝たきりを福祉工学で救えるか. 福祉工学シンポジウム 2007 講演論文集; 34, 2007.
40. 佐藤勇規, 大崎淳史, 木之瀬隆: 一般住宅への天井走行式リフター導入にみるバリアフリー生活環境の向上に関する事例研究; 222, 2007.
41. 大崎淳史, 佐藤勇規, 木之瀬隆: 天井走行式リフターを設置した場合の養護学校自立活動室における活動状況に関する研究; 225, 2007.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の一般演題の発表

1. 脇田優仁, 永田和之, 山野辺夏樹, Clerc Mathias, 木之瀬隆, 小野栄一: iARM の臨床操作評価. 第10回(社)計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会講演概要集; 218, 2009.
2. 山野辺夏樹, 脇田優仁, 永田和之, Clerc Mathias, 木之瀬隆, 小野栄一: 日常生活支援ロボット・アームの操作習熟のための訓練システム. 第10回(社)計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会講演概要集; 218, 2009.
3. 山野辺夏樹, 尹 祐根, 脇田優仁, 木之瀬隆: 上肢に障害のある人用ロボット・アーム RAPUD の操作評価. 第10回(社)計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会講演概要集; 219, 2009.

4. 木之瀬隆, 脇田優仁, 永田和之, 山野辺夏樹, 尹 祐根, 島田 努, 島田 隆: ロボット・アームとシーティング技術による自立支援の検討. 第5回日本シーティング・シンポジウム; 22-23, 2009.
5. 半田隆志, 見木太郎, 佐野公治, 廣瀬秀行, 井筒隆文, 古賀 洋, 木之瀬隆: 座位姿勢計測器の開発. 社団法人電子情報通信学会技術研究報告; 41-46, 109, 358, 2009.

V. 学術関連広報活動

①学会賞受賞、学会会長および世話人

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の業績

②その他

【委員歴】

1. 義肢装具学会会員 (評議員); 2001～現在
2. 日本褥瘡学会会員 (評議員); 2006～現在
3. 日本褥瘡学会学術誌編集委員会委員; 2008～現在
4. 日本シーティング・コンサルタント協会理事長; 2009～現在

【研究報告書】

1. 木之瀬隆 (他6名): 介護施設における身体拘束禁止及び労働環境改善のための福祉用具方策検討事業報告書. 東京都板橋区おとしより保健福祉センター; 2002.
2. 寺山久美子, 杉原素子, 古川昭人, 里村恵子, 栗原トヨ子, 毛束忠由, 木之瀬隆, 笹田哲: リハビリテーションモデルによる在宅ケアアセスメント表の信頼性と妥当性に関する研究. 課題番号 11835030, 科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 研究成果報告書; 2002.
3. 木之瀬隆, 廣瀬秀行, 島海房江, 高橋ジズエ, 菊地明美, 浅島和夫, 岡見 博: 介護施設における身体拘束禁止及び労働環境改善のための福祉用具活用方策検討事業報告書. 東京都板橋区おとしより保健福祉センター; 2002.
4. 木之瀬隆, 渡辺裕美 (他15名): 介護職のシーティング支援機構のための基礎研究. フランスベッド・メディカルホームケア研究/助成財団, 平成14年度研究助成報告書; 2002.
5. 木之瀬隆, 田中荘司 (他6名): 高齢者施設における社会復帰のための福祉用具実態調査; 2003.
6. 秋吉眞一郎, 井手愛子, 井上美保, 木之瀬隆, 鈴木健太郎, 徳永亜希雄, 野村みどり: ノルウェー・デンマークの学校・こども病院等視察報告会. こどもの病院環境&プレイセラピーネットワーク第26回 NPHC 研究会資料; 1-68, 2005.
7. 木之瀬隆: 高齢者の椅子のある暮らしを考える. (財)対日貿易投資交流促進協会, 福祉セミナー読本; 101-112, 2005.
8. 木之瀬隆: 特別支援教育を推進するバリアフリー生活情報環境デザインのあり方に関する研究. (課題番号 16360304), 平成16年度～平成18年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)), 研究成果報告書; 1-140.
9. 木之瀬隆, 永野みどり: 高齢者施設における褥瘡ケアガイドラインの作成. 高齢労働科学研究費補助金, 長寿科学総合研究事業 (平成18年度 総合研究報告書), 研究成果報告書; 20-40, 2007.
10. 木之瀬隆: (車) いす上での身体拘束廃止方策検討事業; 2007.

【研究助成】

1. 木之瀬隆：平成 16～18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)，特別支援教育を推進するバリアフリー生活情報環境デザインのあり方に関する研究 (分担)。
2. 木之瀬隆：平成 16～18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)，車載車椅子の安全評価のためのシミュレーションに関する研究 (分担)。
3. 木之瀬隆：平成 17 年度受託研究費，アルケア株式会社。車いす利用者の身体的・環境的分析と高通気性車いすクッションの利用者への適合分析。
4. 木之瀬隆：平成 17 年度受託研究費，株式会社ハートウェル。自立支援の福祉用具レンタルシステムの構築。

【教育・社会貢献】

1. 身体障害者向けたいジンサービスロボットアームの人間工学的観点からの評価：独立行政法人産業技術総合研究所，客員研究員招聘，2009。
2. 車いすシーティングによる選定・適合の実習／福祉用具専門相談員スキルアップ講習会：財団法人東京都福祉保健財団 講師依頼 2009。
3. 福祉用具研修会 基礎4 (大阪) 姿勢保持：日本作業療法士協会障害教育講座 2009。

VI. 現在研究中のテーマ

1. 高齢者のシーティングと褥瘡予防
2. 義肢装具等のリハビリテーション機器に関する研究
3. 重度障害者用ロボットアームに関する研究